

# 新しい！地域支援事業のあり方を考える 仕組みづくりで住みよい地域へ

市と、ふれあいボランティア・地域助け合いの全国普及を目指す（公財）さわやか福祉財団では、3月18日（金）、鳥山公民館で、「新しい！地域支援事業のあり方を考えるフォーラム」を開き、約150人の地域住民が参加しました。

フォーラムでは、地域包括支援センターの職員から、本市の現状と新しい地域支援事業について紹介があった後、（公財）さわやか福祉財団理事長の清水肇子さんによる「めざすべき地域像 助け合いの仕組みがあるまちづくり」と題した基調講演が行われました。講演は、誰もが住み慣れた地域で最後までいきいきと心豊かに暮らせる社会にすることをテーマに、高齢者の見守り活動や居場所作りを組織化して取り組んでいる山形県川西町吉島地区や岐阜県各務原



清水理事長による講演。



地域の助け合いをテーマとしたディスカッション。

氏八木山地区の事例などが紹介されました。清水理事長は、「地域には、誰にでも役割があり、誰にでも出番がある」と話し、参加者に地域支援のあり方を訴えかけました。続くパネルディスカッションでは、パネリストとして地域包括支援センター職員、ふれあいの里連絡協議会会長の永野益夫さん、小地域福祉活動推進自治会の栗野隆夫さん、地縁組織高瀬自治会の藤川伸一さんを、そしてコーディネーターとして、清水理事長と介護予防・日常生活支援協議体の菅野忠雄さんを迎え、「那須烏山市における地域の助け合い活動をどう広げていくか」を題材にディスカッションが行われました。

## 南那須地域医療を守る会 超高齢社会に向けての予防医学を学ぶ

地域の医療や介護、福祉を充実させようと活動する南那須地域医療を守る会（米山正人代表）が、3月12日（土）、鳥山公民館で講演会を開き、約150人の地域住民が訪れました。

講演会では、七合診療所長の本間真二郎さんを講師として招き、「超高齢社会に向けての予防医学」と題した講演が行われ、認知症や介護、寝たきりの予防・改善について講演されました。

本間さんは、アメリカ国立衛生

## オレンジクラブ「家族介護教室」 介護の悩みを共有



アロマセラピーを体験する参加者。

市では、介護の悩みなどを共有し、介護をしている人にリフレッシュしてもらう場を提供しようと、介護している人や介護などに関心のある人を対象に、月に1回、「家族介護教室」を開いています。

3月24日（木）に開かれた教室では、市民カフェ 35番館を会場とし、昼食をとりながら情報交換や悩みを共有しました。また、その後、リフレッシュ講座として、アロマセラピーが行われ、アロマセラピーアドバイザーの泉史江さんを講師に、アロマの香り体験や認知症に良いアロマの紹介、ハーブティーの試飲などが行われました。参加者たちは、リラックス効果のあるアロマに興味津々の様子で、熱心に耳を傾けていました。

研究所でウイルス学やワクチン学の研究に携わった経験もあり、帰国後は、札幌医科大学新生児集中治療室の室長を務めていました。平成21年に本市に移住。現在は地域に密着した医療を行っています。「日本は『寝たきり』の人がいるのが世界でダントツ1位。これでは、医療費がいくらあっても足りない。病気になるない生き方が今、最も求められている」と話し、認知症などの予防法や改善方法を参加者に説明しました。



七合診療所長の本間さんによる認知症や介護についての講演。

# 若鮎駅伝大会・小学生駅伝大会

## 68チームが八溝路で健脚競う

3月6日(日)、大桶運動公園で、「第14回なすみなみ若鮎駅伝大会(南那須地区陸上競技協会主催)」と「第6回南那須小学生駅伝大会(南那須陸上競技協会、那須烏山市・那珂川町スポーツ少年団本部主催)」が開かれ、68チーム約400人が健脚を競いました。

毎年、県内外から大勢の参加がある若鮎駅伝は、大桶運動公園を発着点に那珂川沿いを一周する6区間25kmのコース。今年は、46チームが参加し、昨年優勝した「大田原高校A」が連覇を果しました。



スタートの合図で一気に駆け出す選手(若鮎駅伝)。

小学生駅伝では、本市と那珂川町のスポーツ少年団など22チームが出場し、大桶運動公園を周回する5区間7.5kmの特設コースで熱戦が繰り広げられました。コース沿いには、保護者や地域住民など大勢の観衆が訪れ、一生懸命に走る子どもたちに声援が送られました。

また、会場では、走り終えた選手たちをもてなそうと、ボランティアによる、手作りの「豚汁」や「うどん」が振る舞われたほか、今年初めてJNAなす南による「いちご」などが無料配布されました。



大桶運動公園を周回する子どもたち(小学生駅伝)。

### ■大会結果

若鮎駅伝(上位5チーム及び本市チーム)

- ①大田原高校A ②文星芸大附A ③ブラックサンダーズA ④矢板陸協A
- ⑤那須塩原市陸協 ⑥下江川RC ⑦南那須中学校S ⑧南那須中学校A
- ⑨鳥山中学校B ⑩NIT栃木RC ⑪南那須中学校B ⑫鳥山中学校A
- ⑬JANAなす南 ⑭高峰RC

小学生駅伝(本市チーム)

- 男子の部 ①境クラブH ②鳥山クラブA ③七合ファイターズA ④宏倫スポーツ少年団A ⑤南那須柔道スポーツ少年団
- 女子の部 ①那須烏山ソフトボールA ②宏倫スポーツ少年団C
- 年少の部 ③境クラブS ④鳥山クラブC ⑤宏倫スポーツ少年団B ⑥七合ファイターズB ⑦鳥山クラブB

## シリーズ 市の文化財 第60回



市指定有形文化財(工芸品)  
銅造 聖観音菩薩立像(個人)

像高約10cm、銅造りの仏像です。火災に遭ったものと見られ表面が溶けていますが、頭頂に宝冠、胸部には胸飾りの痕跡が残り、左手は掌を前面に向け右手は緩やかに下げるなど、観音菩薩像の特徴が確認できます。制作年代は、損傷のため判別が困難ですが、奈良時代を中心に盛んに造られた小金銅仏の一つと考えられることから、奈良～平安時代の頃と推定されます。

約90年前、所有者の祖先が畑を耕作中に発見したと伝わります。以来、お釈迦様の生誕日(4月8日)に合わせて供養を続けるなど、大切に保存されています。

## 栃木を中心に「なすから愛」を叫ぶ！ 宮カフェで本市の魅力PR



観光資源をテーマとしたディスカッション。

なすからクロスアクション(高橋誠二代表)では、3月8日(火)、宇都宮市にある「アテナショップ」宮カフェで、「栃木を中心に「なすから愛」を叫ぶ」を開きました。イベントでは、本市職員による観光PRや、パネルディスカッションが行われました。ディスカッションには、高橋代表がコーディネーターを務め、ゲストとして、(株)島崎酒造社長の島崎健一さん、一般社団法人里山大木須を愛する会の大貫いさ子さん、市文化振興課職員、(株)ファーマーズフォレストの石崎美映子さんを迎え、本市の魅力や観光資源について意見交換を行いました。

## 27年度『第4 四半期』1月～3月 那須烏山市教育委員会会報

### ■第1回教育委員会(1月22日(金))

○那須烏山市教育振興ビジョン(Ⅱ期計画)の策定を承認

### ■第2回教育委員会(2月19日(金))

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認
- 平成27年度那須烏山市教育費予算の補正を決定

○平成28年度那須烏山市教育費予算を決定

○那須烏山市郷土資料館設置及び管理条例の廃止を決定

○那須烏山市教育振興ビジョン(Ⅱ期計画)を決定

### ■第3回教育委員会(3月4日(金))

○平成28年度小・中学校職員定期異動方針を決定

### ■第4回教育委員会(3月25日(金))

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- 平成28年度小・中学校職員定期異動を承認
- 那須烏山市教育委員会関係職員の人事異動内示を承認
- 那須烏山市烏山地区公民館管理人の委嘱を承認
- 那須烏山市郷土資料館設置及び管理条例施行規則の廃止を決定
- 那須烏山市歴史資料取扱規則の制定を決定
- 那須烏山市烏山地区公民館長の任命を決定



- ▲1月10日(日) 成人式出席
- ▲1月17日(日) 那須烏山市駅伝競走大会出席
- ▲3月10日(木) 市内中学校卒業式出席
- ▲3月18日(金) 市内小学校卒業式出席
- ▲3月31日(木) 退職者辞令交付式出席



現地の子どもたちと一緒に桜を植樹(鮫浦復興公営住宅地にて)。

していただきました。

この活動は、3年前から毎年行われているものです。植樹には、NPO法人さくら並木ネットワークから提供された20本の「八重桜」や「ジンダイアケボノ」を高台の新しい復興住宅地内に植えました。

出没する鹿の食害防止が課題で、メンバー全員でそれぞれの苗木ごとに防護ネットを丁寧にかける作業なども行われました。現地の住民らも作業に加わり、ともに汗を流しながら交流を深めました。

小堀代表は「桜は希望のシンボル。3年前から少しでも被災者を元気づけようと牡鹿半島を中心に桜を植える活動を実施してきた。被災された皆さんと一緒に花見ができたらうれしい」と話

ポランティア  
チーム龍川  
石巻に20本の桜を植樹

那須烏山市災害ポランティアチーム龍丁IN(小堀恵美子代表)のメンバー7人は、2月21日(日)、宮城県石巻市の牡鹿半島にある前網浜と鮫浦の復興公営住宅2か所で桜の苗木を植樹しました。

## 職員の危機管理意識の向上のために 南那須庁舎で有事に備え防災訓練

東日本大震災から5年を迎えた3月11日(金)、市では、防災体制の強化や危機管理意識向上のため、市役所南那須庁舎で大地震などに備えた防災訓練を行いました。

当日は、震度6弱の地震により、火災が発生したことを想定し、通報訓練や初期消火訓練、避難誘導訓練、負傷者の避難支援訓練

が行われました。また、逃げ遅れた場合を想定し、救助袋による避難訓練も行うなど、非常時の防災体制を確認。この訓練には、那須烏山消防署の協力のもと、職員や議員約100人が参加しました。

大谷範雄市長は、「マニュアルがあっても、機能しなければ意味が無い。5年前の教訓を胸に、防災・減災に努めたい」と話していました。



救助袋による避難訓練。

3月に入り、市内の小・中学校で卒業式が行われ、恩師や在校生、保護者などに見送られる中、たくさんの思い出を胸に学び舎を巣立ちました。

3月10日(木)には、2つの中学校で227人(烏山中149人、南那須中78人)、18日(金)には5つの小学校220人(江川小26人、荒川小53人、境小17人、烏山小98人、七合小25人)の卒業生に校長先生から卒業証書が手渡されました。

また、幼稚園や保育園でも卒園式が行われ、4月から200人の新1年生が誕生しました。

ここでは、卒業・卒園式の様子を写真でいくつか紹介します。

# 卒業・卒園

おめでとうございます！



## 江川小の校舎で最後の卒業式

4月から旧下江川中学校の校舎へ移転する江川小学校では、現校舎(平成28年3月末時点)で最後の卒業式が行われました。

卒業生や在校生、教職員、保護者などが校舎での思い出に懐かしみつつお別れを告げ、涙、涙の卒業式となりました。小林暢子校長は、「37年間お世話になったこの校舎での卒業式は最後になりましたが、新しい校舎に移っても感謝や誇り、チャレンジすることを忘れず過ごしてほしい」とあいさつしました。



①卒業生入場(烏山小) ②在園生に見送られて(にこにこ保育園) ③全員集合!(にこにこ保育園) ④最後はにっこり(荒川小) ⑤真剣な面持ちで式典に臨む(荒川小) ⑥笑顔でピース(江川小) ⑦別れの言葉を交わす(江川小) ⑧思い出に浸りながら退場する卒業生(烏山中) ⑨校長先生から卒業証書を受け取る(南那須中) ⑩パパ卒園したよ!(すくすく保育園) ⑪卒園証書に興味津津(すくすく保育園)。

南那須中の校歌を卒業式で初お披露目  
作詞・作曲は柴野真理子さん

## 烏山高校で合格発表

# 200人にサクラサク知らせ

県立高校全日制の合格発表が行われた3月11日(金)、烏山高等学校でも合格発表が行われました。

発表となる午前10時、校舎に合格者番号が張り出されると、一斉に受験生や保護者が集まり、「あつた!」という歓声があちこちから聞か

れました。なかには、自分の番号の前で記念写真を撮る受験生や合格を友人と喜びあう姿も。サクラサク知らせに笑顔の輪が広がりました。

また、同校の定員は200人。今年は、6年ぶりに受験者数が定員を上回りました。



「番号あつた!」と笑顔を見せる受験生たち。

## 子育てするパパ・ママの味方! そーいんぐ戦隊ぬうレンジャーが大活躍

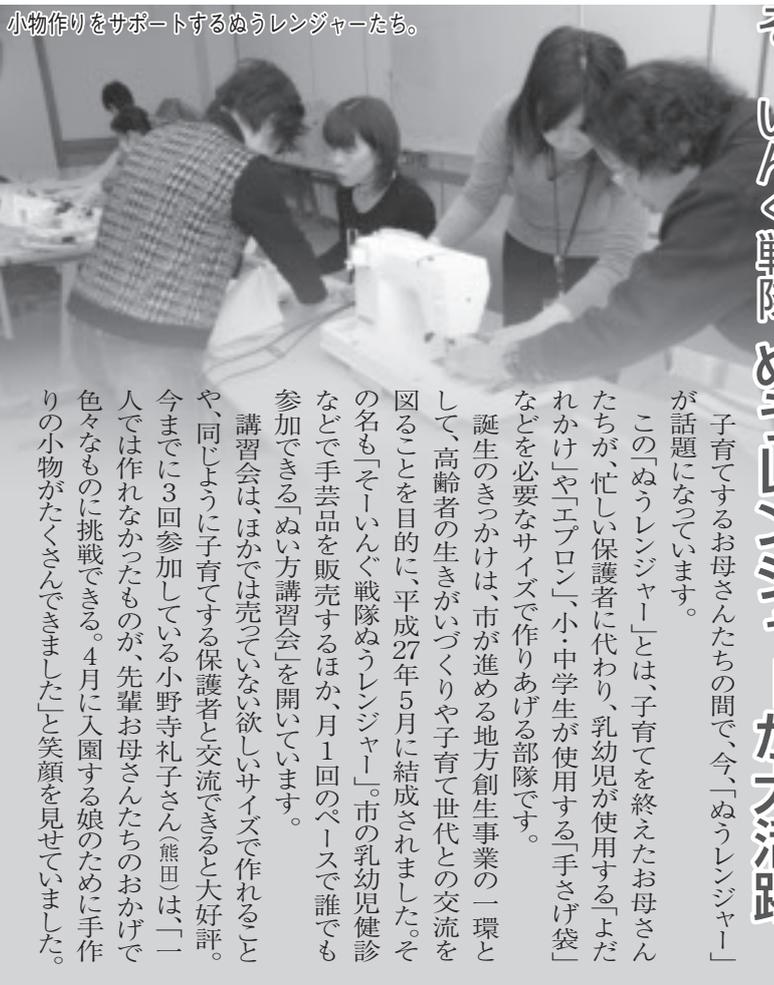
子育てするお母さんたちの間で、今、「ぬうレンジャー」が話題になっています。

この「ぬうレンジャー」とは、子育てを終えたお母さんたちが、忙しい保護者に代わり、乳幼児が使用する「よだれかけ」や「エプロン」、小・中学生が使用する「手さげ袋」などを必要なサイズで作ってあげる部隊です。

誕生のきっかけは、市が進める地方創生事業の一環として、高齢者の生きがいづくりや子育て世代との交流を図ることを目的に、平成27年5月に結成されました。その名も「そーいんぐ戦隊ぬうレンジャー」。市の乳幼児健診などで手芸品を販売するほか、月1回のペースで誰でも参加できる「ぬい方講習会」を開いています。

講習会は、ほかでは売っていない欲しいサイズで作れることや、同じように子育てする保護者と交流できると大好評。今までに3回参加している小野寺礼子さん(熊田)は、「一人では作れなかったものが、先輩お母さんたちのおかげで色々なものに挑戦できる。4月に入園する娘のために手作りの小物がたくさんできました」と笑顔を見せていました。

小物作りをサポートするぬうレンジャーたち。



## 第5回合同就職説明会・面接会 那須烏山市で働こう!を推進



説明や面接が盛んに行われた会場。

市地域雇用創造協議会では、2月24日(木)、ハローワーク那須烏山と共催で第5回「那須烏山市合同就職説明会・面接会」を風月カントリー倶楽部で開催しました。

この事業は、地域の特性を活かして雇用を創出する「実践型地域雇用創造事業」の一環で、求職者が市内事業所等へ就職する機会を提供するものです。求職者にとっては、複数の事業所へ直接相談できる利点があり、事業所にとっても求職者へアピールできるほか、多様な人材の中から採用する機会を提供できます。

当日は、市内の製造業や運送業、介護事業など24事業所が参加し、65人の求職者が採用担当者と面接を実施するなど熱心に就職活動を行い、地域の雇用創出を図りました。



生徒と一緒に校歌を歌う柴野さん(右)。

卒業式には、校歌を作詞・作曲した下江川中学校出身でシンガーソングライターの柴野真理子さんも来賓として出席し、生徒と一緒に校歌を歌いました。

柴野さんは、「久しぶりに卒業式に参加できて良かった。後輩たちと校歌を歌うことができ、改めて歌の素晴らしさを感じたと話していました。

歌詞には、荒川や江川、通学路の「フラタナス並木」、市花「ごぶしの花」などが盛り込まれ、現代風の曲になっています。

昨年、下江川中学校と荒川中学校が統合して誕生した南那須中学校では、初めての卒業式が行われ、生徒たちが新しい校歌を披露しました。

## 子どもの悩みを共有するイベント続々



大家族気分で料理を作る参加者。

NPO法人野うさぎくらぶ（矢口和美代表）では、3月14日（月）、荒川体育館で、「和み座談会・時々、大家族になろうジョイント」を開き、子育て中のお母さんたちなど8人が子どもの悩みを共有しました。

これは、子どもの悩みをお母さん同士が共有し、子育ての辛さを抱え込まず、相談する仲間づくりのために開いているものです。

当日は、全員で「ナポリタンス

パゲッティ」や「ジャーマンポテト」、「サラダ」などバランスを考えた料理約10人前を手作り。参加者は、大家族になった気分を味わいながら、手際よく料理に取り組みました。その後は、昼食を囲みながら会話を楽しみました。

矢口代表は、「ここに来たときは、みんなが家族。悩みや楽しいことを共有して、子育て中のお母さんやお父さんの憩いの場になっていけば嬉しい」と話していました。

## 東力士酒蔵まつり 1600人の地酒ファンでにぎわう

3月19日（土）、20日（日）の2日間、（株）島崎酒造で「東力士酒蔵まつり」が開かれ、市内外から地酒ファンなど約1600人が訪れました。

このまつりは毎年この時期に行われているもので、例年、限定酒販売や日本酒の試飲、酒のきき当てコーナーが人気。他ではなかなか見ることのできない「雫取り」の実演も好評で、訪れた人の味覚だけでなく、視覚も

楽しませました。さらに当日は、「どうくつ酒蔵」を開放し、どうくつ前で行われたフアー・マーズマーケットとともに盛況ぶりをみせました。

また、まつり期間中、同酒造2階にある蔵元VIPルームを「酒蔵レストラン」として各日24人限定でオープン。坪庭や奥座敷の見える雰囲気ある空間で、創作料理や洞窟熟成酒を提供し、ファンの舌を唸らせました。

どうくつ酒蔵を見学する来場者。



## まちのわだい

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当 ☎0287-83-1112

## 上境の小室ナカさん

### 満100歳おめでとごうじょうございます

上境の小室ナカさんが、3月12日（土）、満100歳を迎えました。毎日、新聞を読むのが日課とい



笑顔が素敵な小室さん。

う小室さんは、眼鏡を掛けず隔々まで読むそうで、視力の良さは家族も驚くほど。また、大のジャイアンツファンで、毎回テレビの前で試合観戦をしているそうです。

最初は、実感がないと話していた小室さんですが、大谷範雄市長から祝辞や花束を受け取ると、「100歳になったんですね。みんなに祝ってもらえて長生きした甲斐がありました」と笑顔をみせていました。

# 春爛漫

ふじた体験むらで「いちご・パンまつり」  
春の陽気でにぎわう

南那須観光いちご園  
やパン職人「いっぴ」な  
どによる実行委員会で  
は、3月13日(日)、ふじた  
体験むらで恒例の「い  
ちご・パンまつり」を開  
きました。

春の陽気となった当

日は、県内外から大勢の観光客が訪れ、「とちおとめ」や「とちひめ」のいちご狩りを楽しみました。また、会場では、「いっぴ」のパンや農産物のほか、藤田自慢会による手打ちそば、鮎の塩焼きが販売され、にぎわいを見せました。



いちご狩りを楽しむ来場者。

## 第17回梅まつり

満開に咲く2色の梅の花を楽しむ

3月19日(日)、生産農家や農協、市などで構成される市梅まつり実行委員会 大久保金夫会長は、中山梅園と旧JAなす南烏山梨トマト選果場で「第17回梅まつり」を開きました。

今年、暖冬の影響からか例年より少し開花が早まりましたが、梅園には多くの方が訪れました。旧選果場では焼き芋や野菜、餅、そばなどの販売や抽選会、梅干しの種飛ばしなど多くの催しが行われ、大勢の人が楽しみました。



満開に咲く梅の花。

荒川で

## ヤマメ釣祭り



釣り上げられたヤマメ。

那珂川南部漁業協同組合(荒井一雄代表理事組合長)では、3月5日(日)、荒川の高瀬大橋付近で「第7回ヤマメ釣祭り」を開き、市内外から訪れた約300人の太公望が、清流でヤマメ釣りを楽しみました。

午前7時からの祭りのスタートを前に30分以上前から待ちかまえる太公望たち。親子での参加も多く、にぎわいを見せていました。また、この日のために、ヤマメ約2600尾のほか、ニジマス30尾が前日に放流されました。

荒井代表は、「例年に比べ大盛況だった。これからも親子で参加できる川遊びなど企画していきたい



多くの太公望でにぎわう荒川。

い」と話していました。

今後は、6月の鮎釣り解禁に向けて鮎の放流をする予定です。

## 棋悠会 春季囲碁大会で対局交わす



真剣に碁を打つ参加者。

棋悠会(吉村正会長)では、3月12日(日)、烏山公民館で「春季囲碁大会」を開き、会員など約20人が囲碁の対局を交わしました。

同会は、昭和62年に烏山町文化協会発足とともに烏山町川又囲碁道場の会員を中心に設立。平成27年9月に会場を中央1丁目にあった囲碁道場から烏山公民館に移して活動しています。大会に真剣な面持ちで挑む参加者たち。会場には、碁を打つ音

が鳴り響き、白熱した戦いが繰り広げられました。参加者の中には、100歳の旗手の姿もあり、注目を集めていました。

吉村会長は、「春と秋の大会を楽しみに、週に2回の練習に励んでいる。多くの人に碁の楽しさを知ってもらい、盛り上げていきたい」と笑顔で話していました。

# おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所  
磯田 旺 (敬之・朋子)大里  
荒井 紅 (健二・裕子)南大和久  
杉浦 律 (祐貴・三沙希)大桶  
諏訪 純 (英昭・和美)旭1丁目  
樋山 太 (拓也・千惠美)南1丁目  
佐々木 純 (光・佳奈)宮原  
河原 杏 (樹・康行・由華)上境  
荻井 希乃 (香・雅人・寿子)野上  
山村 雪 (奈・浩之・くみ子)上境  
堀江 優 (初始・妙子)向田  
佐藤 琴 (音・達也・翼子)谷浅見  
玉手 暖 (人・明・美香)宇井  
小林 悠 (紀男・朋子)南1丁目  
岡 逢 (寧・英二・舞衣)三箇  
関 唯花 (保男・峰子)小塙

# スポーツの結果★

●第3回那須烏山グラウンド・ゴルフ  
市民交流親善大会(3月13日(日)烏山運動公園)  
▽優勝・根本幹夫(蛇姫会) ▽準優勝・  
葛西敏夫(蛇姫会) ▽第3位・根本一子  
(蛇姫会)

# 事故防止！黄色いランドセルカバーを寄贈



各小学校の校長に会員からカバ―を贈呈。

3月15日(火)、烏山ロータリークラブ(萩原宣子代表が、市内の5つの小学校に入学する新1年生200人に向けて恒例の黄色いランドセルカバーを寄贈しました。  
37年前から続くこの活動。今回で1万2146人の子どもたちに配布されました。  
当日は、各小学校の校長等が出席し、同クラブの会員からランドセルカバーが手渡されました。萩原代表は、「子どもたちの登下校の安全のためになれば」と話していました。

# 新中学1年生に反射タスキを寄贈

市と那須烏山交通安全協会(篠崎昌久会長)は、子どもたちを交通事故から守るため、市教育委員会に反射タスキ240本を寄贈しました。  
3月17日(木)、南那須庁舎を訪れた篠崎会長は、「交通事故は、わずか数秒のうち起こる。身の安全を守るためにもこのタスキが役に立てば嬉しい」と、田代和義教育長に反射タスキを手渡しました。このタスキは、中学1年生全員に配布されます。



反射タスキを寄贈した篠崎会長(左)。

# 小・中学校に防犯カメラを設置しました！



市では、児童・生徒の安全安心を確保するため、各小・中学校へ防犯カメラ17台を設置しました。  
【写真】烏山中学校に設置された防犯カメラ。

# 編集後記

○「あれ？これ那須烏山市の広報紙？」と思っただ人が多いのではないのでしょうか？安心してください！間違いなく那須烏山市の広報紙です。  
○昨年で市政10周年を迎え、今年度から新しい年が始まるということで、心機一転、リニューアルしました！見慣れないとは思いますが、ぜひ手にとっていただき、みなさんに読んでいただけたらなと思います！  
○さて、毎年この時期に恒例の人事異動ですが…。わたくしCは4年目、Rは2年目突入です。ただ、お世話になった上司のYさんとSさんは、他の課へ…。そして、新たにTさんが仲間入りしました！4人から3人体制になってしまい、ちよつと不安もありますが、力を合わせてたくさんの魅力を発信していこうと思います。ということ、これからも広報統計グループをどうぞよろしく願います！



# Information





# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204  
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★  
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2016.3.1現在  
 ( )対前月比

人口 26,855(-26)

男 13,269 女 13,601

出生 15 死亡 38

転入 57 転出 60

世帯数 9,458

## 市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

### ★一般図書★

『子の無い人生』 酒井 順子  
 『乳酸キャベツ健康レシピ』井澤 由美子  
 『俺たち妊活部』 村橋 ゴロー  
 『悪あがき英会話』 松本 ぶりっつ  
 『軽薄』 金原 ひとみ  
 『バラカ』 桐野 夏生  
 『まく子』 西 加奈子  
 『ビューティーキャンプ』林 真理子  
 『カエルの楽園』 百田 尚樹

### ★児童図書★

『よくわかる選挙と政治』福岡 政行  
 『目で見てわかる身近な単位』  
 子供の科学編集部  
 『いえができるまで』 砺波 周平  
 『1週間後にオレをふってください』  
 日本児童文学者協会  
 『どうぶつのおばけずかん』齊藤 洋

『そりゃあもういいひだったよ』

荒井 良二  
 『なかないでなかないで』あまん きみこ  
 『どうぶつなあに』はた こうしろう  
 『たこやきのたこさぶろう』長谷川 義史  
 『すっきゃわん!』エド ボクソール

### ★DVD★

『海月姫』 川村 泰裕／監督  
 『好きっていいなよ。』日向 朝子／監督  
 『女子ーズ』 福田 雄一／監督  
 『花王名人劇場 落語傑作選』  
 三遊亭 円楽／口演  
 『イミテーション・ゲーム』  
 モルテン・ティルドゥム／監督  
 『ミスターGO!』 キム ヨンファ／監督  
 『劇場版 プリ♥パラ』菱田 正和／監督  
 『天才犬ピーボ博士のタイムトラベル』  
 ロブ・ミンコフ／監督

## 文芸コーナー★

### 俳句

カラフルな洗濯物や春隣

齋藤 穂選

初物と言ふよるこびの露きざむ

杉原キミヨ(志 鳥)

ほくほくのじやがいもピリカ植ゑどきよ

川俣登志子(旭)

寒椿いづれ別れの来るものを

吉田喜枝子(興 野)

### 川柳

夢にまで見る同輩の歯の並び

篠崎 酔月 選

若い時私もあった肌の張り

杉山幸栄子(ハヶ代)

人並みの器になれと父叱咤

小堀 翠泉(中 央)

お言葉にあまい炬燵こたつに小半日

鈴木 幸子(志 鳥)

### 短歌

2月29日四年に一度の月命日亡父らしいと言

福澤 悦子 選

う子らと詣でる 吉澤 紅月(南)

卒寿すぎ離れ布団で寝息きく唯それだけで心

鈴木 豊(谷浅見)

病い癒え手際良く柿吊す夫の豊かなる手に秋

角田かほる(南大和久)

の日は差す 落葉掃ききれいになった地面には蒲公英たんぽぽしっ

安藤 伯麗(旭)

### 作品集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ  
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目  
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。



合併から10年が経過したことに  
 伴い、新たな風を吹かせるためにも  
 平成28年4月号から広報紙をリ  
 ニューアルしました。これからも  
 皆さんから愛される広報紙制作に  
 努めていきます。

広報紙を4月から  
 リニューアルしました

おかげ様で33年!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

代表取締役 中山 寛行

◇損害保険 ◇生命保険

■問合 〒321-0526 那須烏山市田野倉383  
 ☎ 0287-88-9870  
 FAX 0287-88-0234

シリーズ 鳥山高校ってこんなところ！部活動を知ろう編

バドミントン部

広報「なすからすやま」では、今月号から鳥山高校の部活動で頑張る生徒を紹介します！



旧鳥山高と旧鳥山女子高の統廃合時に廃部となり、同好会として活動していた「バドミントン部」。平成27年5月から部活動として本格的に活動が始まりました。現在は、週6回鳥山体育館で活動をしています。

「できたての部ということもあり、個人の能力はまだまだこれから…」と話す顧問の高梨和幸先生。目標は、大会で1回戦を確実に勝ち進むこと、そして、3年後には県北で頂点に立てるチームにすることだそうです。

現在の部員は、2・3年生16人。4月末の県北大会に向けて練習が本格化します。



3年(高根沢町) 高崎彩夏部長

同好会から部活動になったおかげで、学校からの支援も受けられ活動しやすくなりました。今は、弱小チームですが、一人ひとりの実力を向上させ、勝ち進んでいきたいです。たくさんの方の新生入生の入部お待ちしています！



①盛り上がりみせた参加型ゲーム ②ヨッシャ早口言葉を披露するヨッシャ比留間 ③GO！皆川によるウンチョコチョココピー。

200人が笑いの渦に引き込まれる トゥー！ピー！ヨッシャ！LIVE in 那須烏山市

2月28日(日)、鳥山公民館で、横枕青年団(生魚貴宏団長)による「トゥー！ピー！ヨッシャ！LIVE in 那須烏山市」が開かれ、約200人の地域住民が笑いの渦に引き込まれました。

これは、吉本クリエーティブエージェンシー所属で北関東限定トリオの栃木県住みます芸人「上原チヨ」・ウンチョコチョココピーでお馴染みの「GO！皆川」、小さな幸せ笑顔いっぱい「ヨッシャ比留間」によるお笑いライブ。当日は、スペシャルゲストとして、茨城県住みます芸人「オスペンギ

ン」が登場し、会場を盛り上げました。

ライブでは、それぞれの持ちネタが披露されたほか、参加者が参加できるゲームなどもあり、子どもからお年寄りまで楽しみました。また、3月1日に誕生日を迎えた「GO！皆川」を祝うサプライズなども行われ、盛り上がりを見せていました。

生魚団長は、「今年も、どろんピックや花火大会など、新たな楽しみ方を企画しているので、たくさんの方に来てほしい」と話していました。